

北臨技 NEWS



一般社団法人 北海道臨床衛生検査技師会
北臨技 NEWS No.412 2026.9.28
TEL:011-786-7071/FAX:011-786-7073
http://www.hokuringi.or.jp

☆ 2026 年 検査 de フェスティバル参加報告 ☆

令和 8 年 9 月 5 日、チカホにて「検査 de フェスティバル」が開催され、札幌臨床検査技師会から一部ブースをお借りし、参加させていただきました。



「検査 de フェスティバル」は、日臨技事業の「検査と健康展」として札幌臨床検査技師会の主催で毎年開催されており、検査体験を通じて臨床検査技師の認知度向上を図ることを目的とした企画です。今年は、血糖値測定、血圧測定、血管年齢、肺年齢、健康相談コーナーなどが設けられ、無料で検査・相談を受けることができました。さらに、細胞検査士会による子宮頸がんに関するパンフレットの配布も行われました。当日は多くの

の市民が来場し、各ブースに行列ができるほどの盛況となりました。北臨技では例年どおり「もの忘れ検査」を実施し、本年度は 91 件の検査を行いました。多くの市民の方に関心を持っていただきましたが、検査機器が 2 台のみであったため、待ち時間が長くなる場面もありました。この点については、今後の改善課題として検討していきたいと考えています。また、昨年度に続き「中高生の進学支援ガイダンス」も実施し、学生に臨床検査技師の仕事を知ってもらう取り組みを行いました。しかし、今年度は例年と開催場所が異なったことから、学生への声かけがこれまで以上に難しく、十分な周知には至りませんでした。それでも、今回の活動を通じて、臨床検査技師の認知度向上に一定の効果があったものと考えています。今回得られた課題を踏まえ、次年度に向けて実施内容や声かけの方法を見直し、市民の皆様により参加していただきやすい企画となるよう改善を進めてまいります。最後になりますが、「検査 de フェスティバル」の開催にご尽力いただいた札幌臨床検査技師会会長をはじめ役員の皆様、そしてご来場いただきました皆様に、深く感謝申し上げます。（北臨技副会長 和田 直樹）

第 62 回北臨技基礎セミナー(生物化学免疫部門)の終了報告

8 月 22 日(土)、北見赤十字病院にて、基礎セミナー「これでバッチリ！サーバイが外れたらこうする！」を開催しました。本講習会では、精度管理の基礎からサーバイ不適合時の原因分析や是正処置まで、実践的に学んでいただきました。講演では、北見地区の藤本技師・佐々木技師、部門員の小林技師・大橋技師より、精度管理用語やサーバイ報告書の活用、原因分析・是正処置の考え方、自施設での対応事例について解説いただきました。また、グループワークでは事例をもとに原因を追究し、報告書の作成までを実践しました。参加者同士の意見交換も活発に行われ、盛況のうちに終了しました。

アンケートでも「有意義だった」「実務に役立つ」との声が寄せられました。今後も各地区で開催し、原因分析や是正処置への対応力を高め、検査精度のさらなる向上を目指してまいります。最後に、開催にあたりご尽力いただきました畑中会長ならびに北見地区の

皆様に、心より感謝申し上げます。

生物化学免疫部門長 山田 瞳(札幌北楡病院)



第 252 回北臨技講習会終了報告

8 月 22 日(土)、日本医療大学月寒本キャンパスにて、第 252 回北臨技講習会(一般検査部門)「尿沈渣鏡検入門～赤血球・白血球を中心に～」を開催しました。本講習会では、尿沈渣検査における顕微鏡の操作方法や、赤血球・白血球の形態、それらに類似した成分との鑑別ポイントについて、講義と鏡検実習を通して学んでいただきました。受講者へアンケートを実施した結果、全員が講習会の内容について「大変満足した」(85%)または「満足した」(15%)と回答しました。また、「とても勉強になった」「鑑別に自信がついた」「たくさんの標本を見ることができて有意義だった」「次回も実技講習会を開催してほしい」との声も多く寄せられました。実技講習会の実施方法については、現在も模索を続けています。今後も、日常業務に役立つ実技講習会を企画していきたいと考えています。「こんな成分を見たい」「こんなテーマで実施してほしい」などのご要望がありましたら、遠慮なくご連絡ください。

一般検査部門長 猪股 百華(北海道大学病院)

令和 8 年度 日臨技北日本支部研修会 臨床血液部門研修会 終了報告

9 月 5 日(土)、6 日(日)の 2 日間、札幌医科大学にて、本研修会「血液検査集中パワーアップ講座！～基礎力と実践力を磨く～」が開催されました。道内および東北各地域から 38 名が現地参加し、オンデマンド配信には 328 名の申し込みがありました。1 日目は、凝固、CBC、フローサイトメトリー、遺伝子・染色体検査について、基礎的な内容から実際の業務で経験する可能性のある身近な内容まで、幅広くご講演いただきました。2 日目は、骨髓像の基本的な観察手順や細胞判読に関する講演が行われ、その後、各施設から 4 症例が提示される症例カンファレンスが実施されました。各分野の経験豊富な先生方による講演は非常に参考になる内容で、症例カンファレンスでは、司会、演者、コメンテーターの掛け合いの中で活発な意見交換が行われ、大変有意義な会となりました。北海道だけでなく、東北地方の皆様との交流も、今後の業務への取り組みに良い刺激となったことと思います。来年は岩手県での開催となります。皆様、ぜひご参加ください。

血液遺伝子染色体部門長 宇佐美 貴之(北海道大学病院)